

- (6) 拡大常設展（後期） 1月15日～2月1日  
 ・渡部菊二の作品と県作家の木彫  
 年間常設展入場者数 25,336人  
 （無料12,374人・有料12,962人）

## 2 企 画 展

展 覧 会 名	会期(月・日)	有料入場者数
大原美術館所蔵品展	4.19～5.18	14,695
浮世絵名品百選展	5.31～6.29	8,623
いわさきちひろ展	7.12～8.24	20,741
英国・国立ウェールズ美術館展	8.30～9.28	15,034
関根正二とその時代展	10.10～11.9	6,097
川上澄生版画展	11.15～12.14	3,509
福島の美術家たち I	2.14～3.22	5,259

(年間企画展有料入場者数 73,958人)

## 第4節 調査研究事業

美術館としての機能を充実させるために、多岐にわたる調査研究をすすめた。その項目は次のとおりであり、成果としての研究紀要第2号も発行した。

### 1 研究項目

- ① 作家 ② 作品 ③ 技法 ④ 美術史  
 ⑤ 保存 ⑥ 教育普及 ⑦ 展覧会 ⑧ 運営  
 ⑨ 県内外の展示施設 ⑩ 美術館利用者の動向 他

### 2 研究紀要第2号の概要

—執筆は県立美術館学芸員—

- ① 前田寛治—その写実観をめぐって— 早川 博明  
 ② 快慶における来迎の造形とその展開 村田 真宏  
 ③ 亜欧堂田善の「医範提綱内象銅版図」について 岡部 幹彦  
 ④ 淡絵（だみえ）新考 二階堂 充

## 第5節 普及事業

県民の美術に対する関心や欲求は多様で深いものがある。そのニーズに応えるべく様々な事業を行った。その概要は、次のとおりである。

### 1 講演会の開催

#### (1) 定期講演会

- ① 「美術の楽しみ」 5月5日 (110人入場)  
 講師 本間 正義 埼玉県立近代美術館長  
 ② 「絵画の修復」 9月15日 (90人入場)  
 講師 黒江 光彦 美術史家・絵画修復家

#### (2) 企画展講演会

- ① 「大原美術館—その歴史とコレクション—」  
 4月20日 (240人入場)

- 講師 藤田 慎一郎 大原美術館長  
 ② 「浮世絵の魅力」 6月15日 (230人入場)  
 講師 小林 忠 学習院大学教授  
 ③ 「いわさきちひろの世界」 7月27日 (310人入場)  
 講師 飯沢 匡 いわさきちひろ絵本美術館  
 長・劇作家  
 " 松本 猛 いわさきちひろ絵本美術館  
 副館長  
 ④ 「ターナーと印象派の画家たち」  
 8月31日 (190人入場)  
 講師 千足 伸行 成城大学教授  
 ⑤ 「関根正二—その作品をめぐって—」  
 10月26日 (90人入場)  
 講師 陰里 鉄郎 三重県立美術館長  
 ⑥ 「川上澄生の世界」 11月23日 (70人入場)  
 講師 竹山 博彦 栃木県立美術館主任学芸員

## 2 映画会の開催

- ① 「野良犬」 4月27日 (250人入場)  
 ② 「隠し砦の三悪人」 5月25日 (290人入場)  
 ③ 「雨月物語」 6月29日 (250人入場)  
 ④ 「祇園の姉妹」 7月20日 (160人入場)  
 ⑤ 「東京物語」 8月17日 (170人入場)  
 ⑥ 「秋刀魚の味」 9月28日 (260人入場)  
 ⑦ 「誰か為に鐘は鳴る」 10月19日 (470人入場)  
 ⑧ 「赤と黒」 11月30日 (540人入場)  
 ⑨ 「地下水道」 12月21日 (310人入場)  
 ⑩ 「灰とダイヤモンド」 1月25日 (280人入場)  
 ⑪ 「自転車泥棒」 2月22日 (430人入場)  
 ⑫ 「大いなる幻影」 3月22日 (220人入場)

## 3 実技講座の開催

### (1) 親と子の美術教室 —小学生と保護者10組程度対象—

#### ① 1日コース

講座名	紙で遊ぶ	木で作る	年賀状版画を作る
内 容	身近な材料による楽しい造形	木を使った楽しい玩具の工作	さまざまな版画による表現
期 日	7月6日	9月23日	11月16日
講 師	佐久間 敬 (福島大学助教授)		

#### ② 半日コース (夏休みコース)

講座名	動物に乗って	風と遊ぶ
内 容	紙粘土とあき缶による造形	針金を使ったモビール
	8月9日	8月10日
講 師	梶田 幸恵 (宮城教育大学助教授)	